

各関係機関長様

熊本県病虫害防除所長

水稻海外飛来性害虫の飛来状況（技術情報第3号）について（送付）

このことについて、水稻飛来性害虫（ウンカ類、コブノメイガ）の飛来状況を下記のとおりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

トビイロウンカの初誘殺は6月26日、セジロウンカは6月22日、コブノメイガは6月29日でした。

現在までのトビイロウンカの飛来量は平年よりやや多く、梅雨明け後の高温により本種の増殖が速まる恐れがあるので、ほ場での発生状況に注意してください。

1 飛来状況

- (1) 合志市に設置した予察灯で6月22日にセジロウンカ、6月26日にトビイロウンカの初誘殺を確認し、フェロモントラップで6月29日にコブノメイガの初誘殺を確認した（表1）。
- (2) トラップ調査（表1）や気象解析の結果等から、セジロウンカとトビイロウンカの飛来の中心は双方とも6月25日頃であったと考えられる。
- (3) 6月の予察灯累積誘殺数はトビイロウンカが8頭（平年3.3頭）で平年比やや多、セジロウンカは45頭（平年51.5頭）で平年並、コブノメイガのフェロモントラップ累積誘殺数は3頭（平年64.3頭）で平年比少であった。

2 防除対策

- (1) トビイロウンカに対しては若齢幼虫期（1～2齢）の防除が最も効果が高いため、生育ステージを確認して防除を行う（表2）。
- (2) セジロウンカに対しては、飛来がトビイロウンカと同時であると考えられるため、防除の時期はトビイロウンカに合わせる。
- (3) トビイロウンカの飛来量及び増殖量は地域やほ場、使用した箱施薬剤の種類で異なる。ほ場を観察し、要防除水準（表3）を超える場合は防除を行う。
- (4) コブノメイガの防除適期を飛来状況から算出した（表4）。コブノメイガの防除適期は粒剤が発蛾最盛期、粉剤、液剤は若齢幼虫期（発蛾最盛期の1週間後）である。水田における発生状況を確認し、要防除水準（第1世代幼虫による被害株率が20%以上）を超える場合は防除を行う。
- (5) 今後の発生状況や防除適期について最新の情報は、防除所のホームページ（<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/125504.html>）で確認し、適期防除に努める。

熊本県病虫害防除所

（熊本県農業研究センター 生産環境研究所内）

担当：清永 TEL 096-248-6490

表1 ネットトラップ・予察灯、フェロモントラップにおける水稻海外飛来性害虫の誘殺状況

※ 数日間まとめて調査した場合は、調査日にデータを記入した

調査日	予察灯(60W 白熱灯)		ネットトラップ		コイントラップ (フェロモン)
	合志市		合志市		合志市
	セジロウンカ	トビイロウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	コブノメイガ
6/11	0	0	-	-	-
6/12	0	0	-	-	-
6/13	0	0	0	0	0
6/14	0	0	-	-	-
6/15	0	0	-	-	-
6/16	0	0	0	0	0
6/17	0	0	0	0	0
6/18	0	0	-	-	-
6/19	0	0	-	-	-
6/20	0	0	0	0	0
6/21	0	0	-	-	-
6/22	3	0	1	0	0
6/23	10	0	0	0	0
6/24	0	0	-	-	-
6/25	1	0	-	-	-
6/26	5	6	-	-	-
6/27	21	1	1	0	0
6/28	3	1	-	-	-
6/29	1	0	0	0	3
6/30	1	0	0	0	0
月計	45	8	2	0	3
7/1	2	0	0	0	1
7/2	2	0	-	-	-
7/3	0	0	-	-	-
7/4	0	0	1	0	3
7/5					
7/6					
7/7					
7/8					
7/9					
7/10					

初誘殺

初誘殺

初誘殺

表2 予想されるトビイロウンカの防除適期(7/5現在)

★JPPネットによる有効積算温度計算シミュレーションver2を使用

★6月25日飛来の場合(熊本県農業研究センター設置の予察灯初誘殺日から推定)

地点名	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第1世代 幼虫 (1齢~5齢)	7月12日	7月12日	7月12日	7月14日	7月12日	7月17日	7月13日	7月12日	7月13日	7月14日	7月14日
	~ 7月23日	~ 7月23日	~ 7月23日	~ 7月26日	~ 7月23日	~ 7月23日	~ 7月24日	~ 7月23日	~ 7月24日	~ 7月26日	~ 7月25日
第2世代 幼虫 (1齢~5齢)	8月9日	8月9日	8月9日	8月14日	8月9日	8月20日	8月10日	8月9日	8月10日	8月13日	8月11日
	~ 8月19日	~ 8月20日	~ 8月20日	~ 8月26日	~ 8月20日	~ 9月3日	~ 8月21日	~ 8月20日	~ 8月21日	~ 8月24日	~ 8月22日

注1)7月4日までは2022年実測の平均気温、7月5日以降は平年の平均気温をもって有効積算温度にて試算した。

注2)各地点のアメダスデータ平均気温(本年値及び平年値)をもとに、有効積算温度により発育ステージを予測した。

注3)防除を行う場合は、薬剤の効果が高い若齢幼虫期(1~2齢)を狙って防除する。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)	備考
成虫	125	12	産卵までの期間
卵	135	11.4	孵化までの期間
幼虫	250	6.5	1齢~5齢幼虫の期間

表3 トビイロウンカの発生時期別要防除水準

発生時期	要防除水準(成幼虫)
7月中旬~8月上旬	20頭/100株
8月中旬~8月下旬	100頭/100株

表4 予想されるコブノメイガの発蛾最盛期予測(7/5現在)

★JPPネットによる有効積算温度計算シミュレーションver2を使用

★6月29日飛来の場合(熊本県農業研究センター設置のトラップ初誘殺日)

地点名	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第1世代 発蛾 最盛期	7月30日	7月31日	7月31日	8月2日	8月1日	8月8日	8月1日	7月31日	7月31日	8月1日	8月1日
	~ 8月2日	~ 8月3日	~ 8月3日	~ 8月5日	~ 8月4日	~ 8月12日	~ 8月4日	~ 8月3日	~ 8月3日	~ 8月4日	~ 8月4日
第2世代 発蛾 最盛期	8月29日	8月31日	8月31日	9月5日	9月3日	9月23日	9月3日	8月31日	9月1日	9月3日	9月3日
	~ 9月1日	~ 9月3日	~ 9月3日	~ 9月9日	~ 9月6日	~ 1月0日	~ 9月6日	~ 9月3日	~ 9月4日	~ 9月6日	~ 9月6日

注1)7月4日までは実数の平均気温、5日以降は平年の平均気温をもって有効積算温度にて試算した。

注2)各地点のアメダスデータ平均気温(本年値及び平年値)をもとに、有効積算温度により発育ステージを予測した。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	50	13
卵	50	13
幼虫	250	12.5
さなぎ	90	14.2

本田防除剤の散布適期

粒剤：発蛾最盛期

粉剤・液剤：若齢幼虫期

(発蛾最盛期から1週間後)